

衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する 特別委員会ニュース

H23.5.27 第 177 回国会第 5 号

5 月 27 日（金）第 5 回の委員会が開かれました。

1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

- ・松本外務大臣、中野国務大臣（拉致問題担当・国家公安委員会委員長）及び菊田外務大臣政務官に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

榑 淵 万 里 君（民主）

- ・平成 23 年 5 月 22 日の日中韓サミットにおいて、中韓両国に対し拉致問題解決に向けてどのような要請を行ったのか。また両国の反応はどうであったか伺いたい。
- ・平成 20 年 8 月の日朝実務者協議で拉致被害者に関する再調査の合意がなされたにもかかわらず、現在まで拉致問題解決に向けての進展が見られないのはなぜか。進展させるために必要なことは何か。
- ・中国政府の要請に応じ中国国内で脱北者の保護を控える方針であるとの報道は事実か。脱北者から情報収集を行うことで拉致問題解決にもつながると思うが、脱北者の支援・保護についての政府の方針を伺いたい。

長 尾 敬 君（民主）

- ・北朝鮮の金正日国防委員長が訪中（平成 23 年 5 月 20 日～27 日）しているが、その目的と拉致問題解決に及ぼす影響について、政府はどのように考えているのか。
- ・拉致問題対策本部第 4 回会合における本部長指示（平成 22 年 11 月 29 日）のフォローアップ（平成 23 年 5 月 20 日）中の「北朝鮮側の対応等を考慮しつつ更なる措置についての検討及び現行法制度の下での厳格な法執行の推進」の具体的な内容について伺いたい。

古 屋 圭 司 君（自民）

- ・朝鮮半島有事の際の拉致被害者を含む邦人の救出のための自衛隊派遣について、日韓での協議の状況はどのようになっているのか。また、自衛隊法の改正について積極的に検討していくべきではないか。
- ・日中韓サミット（平成 23 年 5 月 22 日）において、北朝

鮮に拉致問題の解決を促すよう中国に対し働きかけを行ったのか。

- ・拉致問題について詳細に書かれた教科書が採択されるように拉致問題担当大臣と文部科学大臣が連携する必要があると思うが、中野国務大臣の見解を伺いたい。

坂 本 哲 志 君（自民）

- ・東日本大震災の復興予算が膨大であるため、北朝鮮側は我が国からの経済援助が受けられないとして、日朝交渉を拒む可能性があるが、今後どのように交渉をしていく方針か。
- ・金正日国防委員長の訪中についての外務省の情報収集状況はどのようなものだったのか。また、金正恩氏が訪中しなかったのはなぜか。
- ・政府は、朝鮮半島有事の際、日本人拉致被害者への連絡の手段として、韓国の民間のラジオ局への協力を要請するとしていたが、現在の進捗状況はどのようになっているのか。

竹 内 讓 君（公明）

- ・拉致問題解決に向けての拉致問題担当大臣と外務大臣の役割分担はどのようになっているのか。また、拉致問題対策本部事務局長は外務大臣が努めるべきではないか。
- ・我が国が日朝交渉に入るために北朝鮮が満たすべき条件について松本外務大臣に伺いたい。
- ・北朝鮮をテロ支援国家に再指定するように我が国から米国に働きかける必要があるのではないか。

笠 井 亮 君（共産）

- ・日中韓サミットの首脳宣言（平成 23 年 5 月 22 日）でも触れられている北東アジア情勢に関し、我が国としてまず南北対話が重要であるとの認識に至った理由について松本外務大臣に伺いたい。
- ・今後の六者会合再開に向けた三段階論に関して日中韓サミットで行った意見交換の内容について伺いたい。
- ・北朝鮮との諸問題を解決するために我が国の外務大臣として北朝鮮に対し主導権を発揮していく必要があるのではないか。

中 島 隆 利君（社民）

- ・G8 外相会合（3 月 14、15 日）、日中韓サミット（5 月 22 日）において日本人拉致問題について提起された内容とそれに対する評価を松本外務大臣に伺いたい。
- ・G8 外相会合において松本外務大臣が言及した「対話のための対話」及び北朝鮮がとるべき「具体的行動」とは何か。
- ・六者会合再開に向けて日本政府は北朝鮮に何らかの条件を求めるのか。